

こうべ子どもにここ会 ニュース



第5号 2008年10月 発行

〒658-0022

神戸市東灘区深江南町 4-12-20-201

TEL&FAX 078(453)7440

kobekodomo_nikonikokai@yahoo.co.jp

<http://www.hyogo-ip.or.jp/nikoniko>

目次

- 巻頭言 ●活動報告 <日本語・教科支援教室> <スペイン語母語支援教室>
- その他の活動 ●フォーカス ●声 ●情報 ●会員募集 ●編集後記

머리말 韓国語 巻頭言

本庄ふれあいのまちづくり協議会委員長

こうべ子どもにここ会運営委員

佐野末夫さん

「地域はみんなで創るもの」

阪神・淡路大震災後、行政からの委託を受けて『多文化共生センター』が深江に来てはじめて日本語学習支援事業※1を実施するときに「深江会館」を活動拠点にするにあたって、担当をしてくれた神戸市国際課の担当者も私の知人であり協力要請を受けたことから関心はあったが、どのように協力するのが難しくなかなか手を出すことが出来なかった。

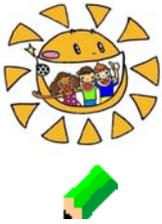
「ゴミの出し方が悪い」「地域の環境や社会が悪い」などの苦言を耳にするたびに、「地域はみんなで創るもので、一人や二人の力では何も改善されない」との思いから、地域のみんなが仲良くなることで生活マナーが改善されると信じ、地域活動を50年間微力ながら進めて来た。

このような思いからも、外国人だからどう…生活環境が違うから…と差別すること無く毎日の生活を共にすることで、いろいろな人たちとの交流が出来、互いに理解しあえるものが生まれてくると信じてやまなかった。

当時、深江地域には300人を超す外国の人々が住んでいながら、地域の人から白い眼で見られていること自体、残念なことであり仲良くなるためにはどうすればよいか?と考えたとき、毎日の生活環境をお互いに体験することで理解しあえるのではないか、そのために地域では何が出来るのかを考え、「外国の料理を地域の人たちに食べてもらうことが出来ないか」と気づき、早速地域の人たちをお願いしたところこのような機会が実現した。

これを契機に地域の人々との交流も芽生え、「深江多文化子どもまつり」などの実現や本庄地域福祉センターでの子どもたちの日本語教科支援教室の開催、子ども同士の交流活動などが継続的に推進される環境が整いつつある。こうした地道な活動をきっかけに、にここ会の活動にも参加することができて、にここ会のお手伝いをさせて頂き感謝しています。

※1 現在、成人対象の日本語教室は、東灘日本語教室として独立し、別場所で開催されています。



Activity Report

英語 活動報告

日本語・教科支援教室

日時 毎週木・土 16:00~18:00

場所 本庄地域福祉センター

●七夕まつり● 日程：7月5日（土） 1年ぶりに地域の方々主催の七夕まつりが開催され、当会も子どもたちやボランティアの願いがこもった短冊のほか、色紙で作った天の川・提灯など2本の笹に色とりどりに飾りつけをしました。深江地区まちづくり協議会ご協力のもと、本庄児童館の子どもたちの飾りと一緒に、深江駅北側の商店街に並べて頂きました。みんなの願いが、天に届いていますように…。そして、たくさんの地域の方々が見て下さっていますように。



スペイン語母語支援教室

昨年度に引き続き、小学生クラスは兵庫県の母語教育センター校として小学校内で実施されています。

参加する子どもたちが4名増え、とてにぎやかになりました。低学年の子どもたちが多く、新しくできた教材を使いながら一生懸命アルファベットやことばを学習しています。

小学生クラス

日時 毎週金 15:30~17:00

場所 神戸市立本庄小学校

中高生クラス

日時 毎週火 16:30~18:00

場所 こうべ子どもにこにこ会事務局



Otras Actividades

スペイン語 その他の活動

●夏休み宿題教室●

●日程：8月4日（月）～8日（金）

場所：こうべ子どもにこにこ会事務局

今年度も5日間夏休み宿題教室を行いました。課題の多い中学生たちが今年も苦労していました。



●遠足●

日程：7月26日（土） 六甲山フィールドアスレチック

たくさん子どもたちと保護者、運営委員、ボランティア等18名が参加しました。

炎天下のなか、高校生OBの協力でゲームを楽しんだあと、年齢別に40ポイントのチャンピオンコースと20ポイントのチャレンジコースに分かれて、約1時間のフィールドアスレチックに挑戦しました。

『ぜんえ～ぶ出来たよ!!!』、『ちょっと難しいのがあったけど、がんばったよ!!!』などなど、いつもの教室とはまた違った子ども達の表情や、快活に行動する様子を見ることができました。

当初ロープウェー駅から1時間ほど目的地まで歩く予定だったのですが、小さい子どもたちも多く、猛暑のため大事をとって急きょ循環バスを利用しましたが、大きなけがや病気もなく無事終えることができました。



●外国から来た子どもたちへの 就学支援ガイダンス●

主催：兵庫県教育委員会

対象者：外国から来た兵庫県在住の小・中学生と保護者、学校の教師や支援者

日本ではこの十数年、外国から来た子どもたちが増加しており、その子どもたちや保護者の中には、日本の教育制度や高校・大学への進学方法が分からない人が多いです。

兵庫県では、昨年度より兵庫県教育委員会が主催となり外国から来た子どもたち、保護者や支援者を対象に、日本の学校システム、県内の高校進学手続き、高校の所在地や特徴、試験内容、準備方法、日本の学校への進学手続きなどの説明や、多言語で相談に応じる就学支援ガイダンスが開催されています。

当会は8月31日（土）県立のじぎく会館にて行われた神戸会場に関係者団体として当日の会場運営等に協力しました。

会場には、様々な国の子どもたち、保護者やその支援者60名ほど参加し、熱心に説明に耳を傾けたり、個別相談をしていました。

また、すでに日本の高校や大学へ進学し楽しく勉強に励んでいる外国籍の学生たちから、先輩としての体験談発表があり、後輩たちを励ましました。

6年前から当会のスペイン語母語支援教室で学習しているコハツカロリーナさんが、「日々の生活をおろそかにせず、しっかりと頑張ってください。日本語がまだわからなくても、まずは何事も一生懸命することが大事です。」などと、県立高校への受験体験を日本語/母語であるスペイン語で発表しました。



日本語とスペイン語で
体験発表をするコハツ・
カロリーナさん

●コープこうべ虹の賞を受賞しました●

第17回コープこうべ虹の賞（生活協同組合コープこうべ生活文化・福祉部）の団体の部奨励賞を受賞し、7月2日（水）生活文化センターにて行われた表彰式に出席しました。



●19年度決算報告●

昨年、19年度の決算は以下のとおりになりました。

繰越金	568,737
助成金	2,941,064
会費・寄付金	271,440
受益者負担金	184,000
収益・その他	99,264
収入合計	4,064,505
活動事業費	2,993,221
事務管理費	609,848
人件費(事務職員2名)	532,380
支出合計	4,135,449
	-70,944





調査で昨年度から当会に関わっておられ、月に数回日本語教科支援教室にヘルプとして来て下さっています。

第4回 大阪大学大学院人間科学研究科

グローバル人間学専攻 助教 乾 美紀さん

私がいこにこ会でボランティアを始めたのは2年前の2006年のことです。2004年に、短期間でしたが、多文化保育園でボランティアをしていたので、その時から、いこにこ会の活動にも興味を持っていました。興味を持った理由は、私自身が大学で、「マイノリティの子ども達の教育」について研究していることもあり、外国人の子ども達がどのような学校生活を送っているか、彼らももっと楽しく学校で過ごせるにはどうしたらよいかについて知りたかったからです。また自分自身が2児の母であり、東灘区の住民であることから、研究とは別に、母として住民として地域貢献ができればと思いました。

いざボランティアを始めてみると、当然ながら多文化保育園の時とは違い、日本語がまだ不自由な子ども達に「分かるように勉強を教えること」に困難を感じました。子どもたちの中には放課後に友達に会えた嬉しさで、勉強に集中できない子どももいます。また、母語で話せて安心しているのが落ち着いて勉強に取り掛かる子どももいます。次第に、子ども達にとっていこにこ会は勉強する場所だけではなく、ボランティアさんや友達と話してホッとできる場所でもあると感じました。宿題が終わり、時間ができると、学校での悩みを打ち明けてくる子どももおり、それぞれが楽しく学校に通っているように見えながら、様々な悩みを抱えていると思いました。そこでいこにこ会に通っている高学年以上のこどもたちには、保護者や本人の了解を得て、個別にインタビューをしてきました。

今までのインタビューから分かったことを説明します。まず、子ども達が抱える問題は、日本にきた年数、出身国、家庭の状況などによって大きく異なることです。例えば来日年数の浅い子は、日本語の理解は言うまでもなく日本の学校制度や勉強する教科にさえ戸惑います。一方、年数が経つと、日本の語の問題は落ち着き、進学や進路の悩みを打ち明け始めます。学校では外国から来た子どもたちは、「外国人」とひとくくりにされがちですが、ひとりひとりのニーズは違いますので、ニーズに合った支援が求められます。こうなると、学校教育の枠組みだけで外国人を支援するのは、大変困難であるので、いこにこ会のようなNPOと連携をする必要性を感じます。

次に、外国人生徒にとって高校への進学が課題となると感じています。日本では高校入試の制度があるため、受検を経験しなければなりません。進学校に合格できる子どもはわずか一握りで、進学機会が限定された子どもは、同じ入り口に立てないという悩みを持ちます。全国の入試制度を見ると、受検時に辞書の持ち込み、受検時間の延長、母語による論文などができる自治体がありますし、毎年何人かの外国人生徒を受け入れる「特別枠」を持つ高校もあります。つまり、外国人生徒がなるべく同じ入り口に立てるように努力がなされているのです。

私たちの住む兵庫県でも、従来の入試制度が変わってきており、申請者には漢字にルビ、時間延長が認められるようになりました。研究者として外国人の子ども達の生の声を聞き、現状を広く世間に発信していくことで、状況が改善されていく役目を果たしたいです。

私自身、いこにこ会に来て子どもたちの笑顔を見るとホッとします。最後になりますが、地域の住民として、そして母としても、外国人の子ども達の就学環境が改善され、個々のニーズに合った教育支援や学校づくりがなされることを心より願っております。

* 調査の詳しい結果は、志水宏吉編著(2008)『高校を生きるニューカマー』(明石書店)、乾 美紀・中村安秀(近刊)『子どもにやさしい学校—違うからこそ学びあえる』(ミネルヴァ書房)に掲載しています。



4月いっぱいまで松井俊夫さんが健康不良のため退職されました。現在の事務局体制は新コーディネーターの田谷と田中の2名になりました。主に、日本語教科支援教室に関わるコーディネートを担当しています。

第4回 田谷 暁子さん
(こうべ子どもにこにこ会 新コーディネーター)

東灘日本語教室にボランティア登録をしたことがご縁で、6月から事務局スタッフとして、また、土曜日のボランティアとして、3ヶ月が過ぎました。

外国籍の子どもたちを取り巻く社会的な現状や学校生活などの状況から、当会の活動の重要度、必要度はますます高くなっていくのでは、と、感じ始めています。が、私のそういった方面の理解度の未熟さから、会の活動などについて、まだまだ戸惑う事がありますが、田中さんやボランティアの皆さんの助けを頂き、視野を広げて、出来るだけ研修会などにも参加するようにし、コーディネーターとして・ボランティアとしての経験を重ねて、にこにこ会の運営・活動の充実向上に反映していけるよう、私なりに努力していこうと思っています。どうぞよろしくおねがいします。

た や さとこ
田谷 暁子



★スペイン語母語教材が完成しました！

昨年度、日本財団の事業として作成したスペイン語母語教材を部数限定で販売します。



発行：こうべ子どもにこにこ会
著者：櫻井千穂 中島永倫子 Francisco Alfaro Herrela Lourdes
価格：2,000円 指導者用と学習者用があります。
128ページのオールカラー！！

【テキストの主な特徴】

- ・従来の文法中心の積み上げ式ではなく一課完結型のモジュール型である。
- ・タスクプロジェクトをベースにしており、レベル分けされた(Nivel1~3)練習問題を与えることでそれぞれのタスクを完成させることができ、児童がレベルの違いを超えてクラス参加ができるようになっている。

★ 第39回博報賞を受賞しました！

財団法人博報児童教育振興会 第39回博報賞『国語・日本語教育部門』を受賞しました。

「外国人児童の自主的な学習や生活の自立を支援することを目的に設立され、日本語教室を中核に、様々な行事等を通して生活面、精神面において大きな支援を行っている。保護者や地域、教育行政と連携しながら日本語教育教科教育、母語教育という言葉教育を着実に推進している功績は高い。」という評価をいただきました。<http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/prize/newest.html>

★ ボランティア募集

●日本語・教科支援ボランティア

木曜日のボランティアが大変不足しています！

各子どもの学習能力やニーズに対応し、主に日本語（国語）・数学（算数）・英語を1対1でサポートしています。原則として日本語でサポートを行い、勉強会などに参加しながら行ないますので経験等は不問です。やる気のある方歓迎です。

☆活動時間：木・土 16:00～18:00 ☆活動場所：本庄地域福祉センター
ボランティア オリエンテーション（要予約）に参加してみませんか？

木曜日に関しては随時対応しております。お気軽にお問い合わせください。



会員募集

日本語



会員になって私たちの活動を支えてください。

◇◆正会員【年会費 5000円】 個人

総会での議決権がある会員です。

◆◇サポーター会員【年会費 101000円】 個人10人以上・法人100人以上

経済的な支援を頂く賛助会員です。

郵便振替 0090-4-251298

こうべ子どもにここ会



編輯感想

中国語

編集後記

子育てとの両立はそう容易いことではないことを覚悟の上で復帰したつもりでしたが、主に週1回の出勤や+@の会議等、残りは自宅作業という状況下、想像以上に仕事に費やせる時間が少なく、その中で当会のように基盤の小さなNPOを運営していくことの難しさを痛感させられる日々です。周りの働くママさんはもっとパワフルに活動されているのに…好きで選んだ道！私も弱音を吐いている場合ではありませんね。賛同して会員になって下さる方が増えていることや、今年は2つの賞を受賞し、少しずつ活動が評価されていることもとても励みになります。課題は山積み…

最後になりましたが、夏前の予定をしていた第5号の発行が遅れましたことと、こちらの不備により一部の方に第4号が届いてなかったことを深くお詫び申し上げます。今後ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。（田中香織）